

(様式2)

支部事業報告(射水・高岡・氷見1・2支部合同)		開催日	2022年3月26日(土)
		時間	10:00～12:00
		場 所	高岡市ふれあい福祉センター
研修会名	射水・高岡・氷見1・2支部合同研修会		
参加対象者・参加人数	会員 非会員 その他() / 参加者 会員(32)名 非会員()名		
事業(研修)目的	1)看護職の政治への関心を高め、看護連盟の活性化を図る 2)看護連盟会員としての自覚を持ち、その役割を知る		
研修会 テーマ	講演1「看護連盟の現状と課題」講師 富山県看護連盟 大井 きよみ会長 講演2「感染症対策について」講師 済生会高岡病院 感染管理認定看護師 谷渕 舞先生		
主 催	富山県看護連盟射水・高岡・氷見1・2支部		
研修方法	講演		

【内 容】

講演 1「看護連盟の現状と課題」

看護連盟とは、看護協会の看護政策を達成するための政治団体であり、看護協会と看護連盟は、役割を分担しながら、協働・活動し問題解決・看護政策の実現を行っている。看護連盟の強化が政策実現の近道である。看護を取り巻く多くの課題を現場の声として看護協会・看護連盟に届ける事により、具体的な政策が作り上げられる。そして、その看護政策の実現のためには制度化・法制化(政治の力)が必要となる。

これまでの看護連盟の事業や看護に関連した法律・国政で活躍された看護職議員の成果について説明された。また現在、看護師教育や看護師の処遇改善・基本給の引き上げに対して取り組んでいる事や富山県看護連盟の現状について理解できた。次期選挙で立候補する「友納理緒」さんを紹介された。

看護職一人一人が倫理綱領に基づき政治活動・選挙活動に関心を持ち、制度の变革へ参加する必要性を訴えた。「政治に無関心であっても無関係ではいけない」の言葉通り、看護職は政治に深く関わっている事を理解した。看護制度をより良くする為に一人一人が意識して行動する事が不可欠だと実感した。



講演 2「感染症対策について」

「新型コロナウイルス感染症対策」と題して、ウイルスの感染経路・感染者数の状況や症状・重症度分類など講義をされた。その後、新型コロナウイルスに感染した実体験を基に闘病生活について語られた。

感染対策の3つの柱として①手指衛生②マスク着用③ワクチン接種(任意)が重要である。①手指衛生では、焦らず丁寧に手指衛生をすることが大事である。②マスク着用では、鼻から顎まで覆った正しいマスクの着用をすることが必要である。③ワクチン接種では、発症予防・重症化予防・(感染予防)の効果・目的がある。また、当院で実施されている感染対策のiPad診療・セルフVS測定・代行の買い物など紹介された。

医療従事者は、自分自身を感染症から身を守ると共に自分自身が感染源になってしまっているといけない。最後の「人を見たら、コロナと思えそれが標準予防策」という言葉をしっかりと念頭に置き、一人一人の確実な行動をとることが新型コロナウイルスの現状を乗り越えるために重要であると実感した。

まとめ:

会長の講演を聴き、改めて、看護連盟会員として、政治への関心を高めたと感じます。また谷渕舞先生の「新型コロナウイルス感染対策」では、貴重な実体験を聞かせて頂き、感染対策(手指衛生・マスク着用・ワクチン接種)の理解と標準予防策の重要性を改めて確認できました。私も含め参加者は、緩んでいた感染対策への気持ちが再度引き締まったのではないかと思います。今回、感染対策として受付時の体温測定・手指衛生に加えて、座席を指定し、連絡先と住所を記入してもらうことにしたことにより、記入に時間がかかりました。、今回、実施できた研修会を振り返り、今後の改善につなげられたらと思います。

報告者 高岡・氷見1支部 幹事長